

令和5年6月27日 佐藤

～ 2016年11月オープンから約6年半。国内外に向けて北斎の魅力を発信しています～

「すみだ北斎美術館」開館からの 累計入館者数 100 万人を達成！

すみだ北斎美術館のオープンからおよそ6年7カ月を迎え、この度、同館への累計入館者数が100万人を達成しました。6月25日（日）午後1時30分より記念セレモニーが開催され、千葉県松戸市から企画展を見に来場し、今回記念すべき100万人目の入館者となった八木ヶ谷 柚希（やきがや ゆずき）さんとお父さんの繁（しげる）さん、山本 亨 墨田区長、澁谷 哲一 館長が参加しました。

セレモニーでは、くす玉割りを行い、記念すべき入館者となった二人に、山本区長と澁谷館長から、同館のミュージアムグッズ、年間パスポート、企画展の図録などを贈呈し、記念撮影を行いました。

八木ヶ谷さんは「子どもが葛飾北斎の作品に興味を持っているため、今日初めてすみだ北斎美術館を訪れました。まさか100万人目の入場者になるとは思いもしなかったの、とても驚きました。」と話しました。山本区長も「北斎生誕の地である「すみだ」に2016年に開館して以来、国内外から100万人という多くの方に訪れていただけたことは、大変喜ばしい。コロナ禍での休館など、大変な時期もありましたが、最近はまだ多くの方にお越しいただいており、本当にうれしいです。」と、100万人の達成を喜びました。

なお、6月20日（火）から始まったばかりの企画展「北斎 大いなる山岳」には、この日も国内外から多くの方が訪れており、「世界の葛飾北斎」の注目度の高さがうかがえます。

澁谷館長は「多くの皆様に訪れていただき、本日100万人目のお客様をお迎えすることができました。新型コロナウイルス感染症の拡大による厳しい時期を乗り越え、こうした日を迎えられたことを、感慨深く思います。これからも、より多くのお客様に愛される美術館をめざし、北斎の新たな魅力が感じられる展覧会を開催していきます。」とコメントしました。

《写真》 記念式典の様子



《概要》 すみだ北斎美術館

葛飾北斎は、宝暦10年（1760年）に本所割下水付近（現在の墨田区亀沢付近）で生まれ、90年の生涯のほとんどを墨田区内で過ごしながら、優れた作品を数多く残し、現在も世界的な画家として国内外から高い評価を得ています。

区では、偉大な芸術家である北斎を区民の誇りとして永く顕彰するとともに、地域の産業や観光へも寄与する地域活性化の拠点として、平成28年（2016年）11月22日に「すみだ北斎美術館」を開設しました。



同館では、北斎及び門人の作品を紹介するほか、北斎と「すみだ」との関わりなどについてわかりやすく伝えるため、展覧会をはじめ様々な普及事業を開催しています。これらの事業を通して国内外に向けて情報を発信し、北斎と「すみだ」の魅力をより一層高めることを目指しています。

【所在地】墨田区亀沢 2-7-2

【開館時間】9時30分～17時30分（入館は閉館30分前まで）

【休館日】毎週月曜日（月曜日が祝日又は休日の場合はその翌平日）、年末年始（12月29日～元日）

【電話】03-6658-8936

【HP】<https://hokusai-museum.jp/>

《概要》企画展『北斎 大なる山岳』

北斎は、日本一の山・富士山をはじめ、江戸時代にできた人工の低山・天保山に至るまで、さまざまな山を描いています。

北斎の描いた山を通して、山の信仰、生業、伝説や怪談を紹介し、日本人と山の関わりを見て行くとともに、北斎による多彩な山の表現とその魅力に迫ります。

【会期】令和5年6月20日（火）～8月27日（日）

会期中、一部展示替えを予定

（前期：6/20～7/23、後期：7/25～8/27）



《問合せ》文化芸術振興課

03-5608-6115

すみだ北斎美術館

03-5608-8931

お問合せは、午後5時までをお願いいたします。（広報広聴担当 03-5608-6220）